



西桂町 議会だより

第18号

平成9年10月29日発行

ウォッチ ザ GI-KA-I

まちづくりは議会から



平成9年10月7日、消防西桂分遣所オープン

定例会

平成9年9月

一般会計決算賛成討論・監査委員報告	2
町民一人あたりの負担は（一般会計決算）	3
町長所信表明	4、5
決算審査状況（連合審査会）	6、7
一般質問（2名）	8～11
委員会所管事務調査（建設文教・総務）	9、11
県内外先進地視察報告（ミニサッカー場）	12、13

議会を傍聴
しましょう



3階の議会事務局で受付
していただくと、誰でも
傍聴できます。

経営感覚による行財政運営を



永田 富幸 議員

一般会計賛成討論

平成8年度西桂町一般会計歳入歳出決算の認定についての賛成討論を行います。昨年度と比較して、歳入は12・6%の減少、歳出は13・7%の減少となっております。

減額の理由としてはいきいき健康福祉センターの建設完了に伴う普通建設事業の大幅な減額であり、限られた財源、限られた予算の中で当初予定していた事業を概ね執行できたものと理解しており、町長始めとする当局のご努力に対し、改めて敬意を表する次第でございます。町長の提唱される「経営感覚を取り入れた効率的な行財政運営」の言

葉どおり、限られた自主財源の中で極力無駄を省き、中学校建設整備基金・公共施設整備基金・減債基金の3つの基金に対し多額の積立を行なったことは、将来の堅実な財政運営を志向した点から高く評価されるべきであります。

しかし監査委員の指摘のように、昨今の当町の財政状況は硬直化の様相を呈しており、各種財政指標においても悪化の傾向にあります。そのような状況の中、下水道事業や公共施設の老朽化に伴う建設整備、三ツ峠周辺へのアクセス道路整備等、今後予定されている社会資本の整備はどれをとっても多額の経費を要する事業であり、財源の確保とともに既存の行財政運営の抜本的な見直しを必要とするものと感じております。

平成9年度 9月定例会 本会議

平成8年度 一般会計決算

歳入 19億8千301万2千359円
歳出 18億8千540万 942円

将来に備え基金の積立を



渡辺 卓三 監査委員

監査委員報告

平成8年度西桂町一般会計歳入歳出決算書並びに5会計の決算審査にあたり、関係諸帳簿及び書類等適正に執行されており、正確であることを認め、併せて財務に関する財務監査を行い、全体に良好に執行されており、今後一層の努力を要望いたします。

○一般会計

平成8年度総合収支の特徴として普通建設事業費「7年度いきいき健康福祉センター事業」の大幅な減少に伴い、歳入で前年度比12・7%、歳出では13・8%のそれぞれ減少となっております。問題点として主な財政分析指標に見られ

た点は非常に高く評価する訳でございます。

○国民健康保険会計

滞納繰越分の徴収がほとんどされており、毎年毎年の累積金額が大きくなっており、場合によっては返済も困難であり、交渉の過程で分割なりの方策を考え、全庁一丸の体制を取る必要があると思います。

○簡易水道会計

現在耐震施設への移行、水圧低下地域の解消、老朽施設等の改修と鋭意取り組みの中ですが、おいしい水のイメージ確保に会計運営の健全化を図りながら立派な良い水道ということに推し進めていただきたい。

○グリーンセンター会計

平成8年度は一般会計より1千6百万円を繰入れ、平成2年から8年までの合計が4千万円となり、公営事業の難しさも認識しておりますが、深刻な状況にありますので、三ツ峠周辺事業に絡めて改善の対策を検討していただきたい。

物件費

6万5千710円



事務経費一般、臨時職員賃金、業務委託料等

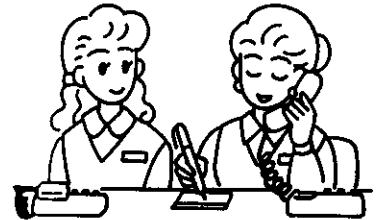
その他

5万900円

維持補修費、積立金
繰出金、投資出資金等

人件費

7万5千19円



主に常勤の職員の給与
町長、議員等の報酬

公債費

2万9千227円



毎年度、償還すべき
町債の元金、利息

町民一人あたり
このように
使われました

平成8年度
一般会計決算



補助費等

4万5千808円



他市町村との広域業務
負担、他団体へ補助等

投資的経費

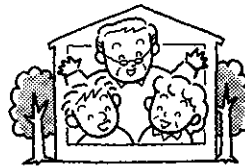
10万5千963円



大型備品の購入、町道
水路、建物の建設等

扶助費

1万1千914円



施設措置費、福祉手当
医療費助成、敬老年金

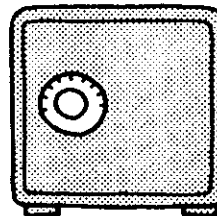


町の借金総額

133万7千2千円

町民一人あたり

27万2千691円



町の貯金総額

128万7千338千円

町民一人あたり

26万2千561円

牛田議員 各種委託料の伸びに伴う物件費の増大が經常収支比率を押し上げているとのこと報告ですが、その中で委託料はどのようなようになっておりますか。

それから昨年度の監査報告の中で、滞納整理表はありますが訪問面接の交渉記録がないものの指摘がありました。その交渉記録の有無についておたずねします。

渡辺監査委員 ご指摘のとおり高い数値かと思えます。組織の大小にかかわらず、前向きに色々取り組む中で、当然出てくる問題で避けて通れない資金だと思います。これをいかに検討して有効活用することだと思います。

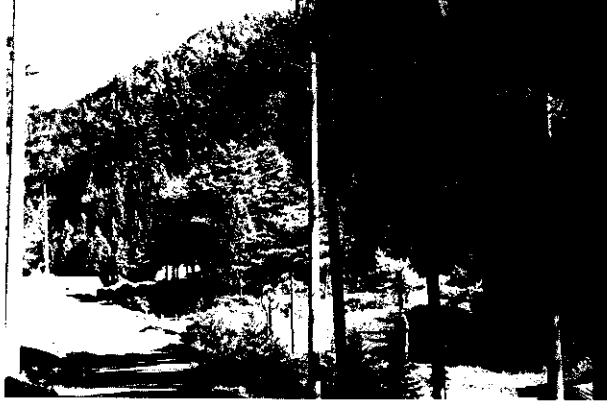
滞納整理の問題は、滞納繰越額決算書で解りますが、回収が進んでいない点は問題だと思います。このような状況の中で、折衝記録簿は今期の審査で拝見しました。これを作成し、活用する中で催促状、訪問に取り組んでおります。

多様な意見に耳を傾け、

計画性ある開かれたまちづくりにまい進します

前田町長
所信表明

9月定例会本会議



大沢公園下の柄杓流河川公園予定地の現状

9月定例会議会の開会にあたり、私の所信の一端を申し述べ、各位のご理解ご協力を賜りたいと存じます。

最近の国における行政改革は、省庁再編や地方分権など課題が山積しており、地方行政運営に大きく影響する問題であります。このたび第2次橋本内閣に堀内光雄代議士が通産大臣にご就任なされ、謹んでお祝いを申し上げ、県土、町土の発展にご活躍をご祈念申し上げます。

さて西桂町では、「活活西桂」の実現に取り組んでおります。今後とも多様な意見に耳を傾け、計画性ある開かれたまちづくりにまい進する所存でございます。これより活活西桂建設のための事業の執行状況につ

いて申し述べます。

《三ツ峠周辺整備事業》

・ミニサッカー場建設事業
設計委託が終了したので、敷地の造成は年度内に完成するよう事務を進めています。

・オートキャンプ場
現在、土地所有者と土地交渉を重ねており、用地取得に対応しています。

・仮称柄杓流河川公園
都留土木事務所と協議中でしたが、公園の一部の設計が済み11月中旬護岸工事に着手と伺っております。

・桜並木植栽事業
町民各位には、ご理解ご協力を頂き感謝しております。来る11月30日には、町民総参加の植樹祭を計画し

ております。

・三ツ峠周辺アクセス道路
地方道路整備計画作成委託を完了しましたが、多額の経費を必要とする事業であり、今後は議会、県関係機関をはじめ関係者と、慎重に協議検討を重ねてまいりたいと考えております。

《各種事業の執行状況》

・庁舎改修について

町民各位には大変ご迷惑をおかけしましたが、10月6日完成予定です。庁舎東別館については、11月19日の完成を予定して改築に着手しております。

・富士五湖広域行政事務組合 富士吉田消防署西桂分遣所新設
10月7日竣工式を行い、

翌8日から業務開始の予定で、常駐職員3名、消防自動車1台、救急車1台の配備を予定しております。

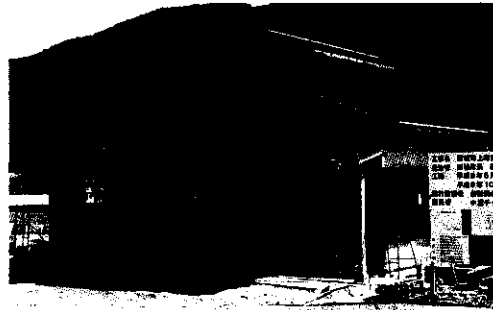
・上町公民館建設
上町公民館は、10月30日



コンピュータ導入のため改修された役場事務所



9月より利用開始、新福祉バス



完成が待たれる上町公民館

平成8年度の6会計決算額

会 計 名	歳入歳出決算差引	繰越明許費繰越額	実 質 収 支 額
一 般 会 計	9千761万1千417円	1千800万0千000円	7千961万1千417円
(区 分)	(歳 出 総 額)	(カッコ内 予算計上額)	
○基盤整備	1億3千777万0千円 (1億3千856万4千円)		
中学校前線拡幅改良事業、地方道路計画作成、粗大ゴミ一時集積場用地造成事業、ゴミ収集事業、ゴミ処理関係補助事業			
○産業振興	1千010万0千円 (1千010万0千円)		
商工業活性化促進事業、織物業活性化及び製品開発補助事業			
○環境整備	7千509万7千円 (7千756万7千円)		
消防本部西桂分道所用地整備事業、消防防災施設整備事業、防災体制整備事業、公共施設耐震耐力度診断、準用河川改修事業、小屋の入防災対策事業、住民防災意識育成事業、自主防災組織整備事業、防犯灯・街路灯整備事業、違法駐車等防止事業、その他交通安全対策事業			
○福祉対策	8千918万1千円 (9千875万8千円)		
三ツ峠周辺整備事業、特定農地貸付事業、ディサービスセンター運営事業、各種保健事業			
○人材育成	2千983万9千円 (3千018万6千円)		
町民総意のまちづくり、地区公民館建設整備事業			
会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出決算差引
国民健康保険特別会計	2億9千699万0千894円	2億7千617万7千842円	2千081万3千052円
老人保健法特別会計	2億4千724万4千127円	2億3千484万2千216円	1千240万1千911円
グリーンセンター特別会計	3千419万9千006円	3千398万0千240円	21万8千766円
簡易水道特別会計	7千723万3千321円	7千494万7千577円	228万5千744円
下水道特別会計	1億4千142万0千196円	1億4千008万8千923円	133万1千273円
会 計 名	補 正 額	補正後の予算総額	
9年度一般会計3号補正	1千613万7千円	19億1千895万6千円	
○公債費追加	1千176万4千円		
平成8年度借入れした起債の償還金の額が明らかになったため。			

完成予定で、現在順調に工事が進んでおります。上町区の皆様と打ち合わせを進めております。

・防犯灯設置事業
昨年度に続き、本年度は各地区の主要道路を中心に多くを設置する予定で、間もなく発注いたします。

・福祉バスの購入
福祉バスの新規購入は8月29日納車の運びとなりました。車内の居住性と車体の図柄も考慮し、住民の皆様にご満足いただけるよう買い替えを行いました。

・焼却炉について
ダイオキシン発生が問題化している焼却炉について、町は家庭用簡易焼却炉の設置を推進してきましたが、今後補助金制度を廃止する方向で検討しております。

公共施設内焼却炉は閉鎖し、ごみステーションを利用する方向で検討を進めております。なお各家庭の既設焼却炉は、その事情に鑑み利用を控えるよう指導していく予定ですが、併せて資源

の再利用の分別収集が徹底され、ごみの減量化を図りたいと考えております。

・県道富士吉田・西桂線
7月上旬供用開始に必要な関係図書を県へ提出、その結果9月末に告示を行い、縦覧期間21日間を過ぎれば一部西桂分の供用開始となると思われます。県の管理下となった時点で、整備等住民対応等をして、一歩ずつ進めて行きます。

・仮称柿の木公園建設
都留土木事務所と協議を重ね、現在河川砂防課で詳細設計作成中で工事発注は、12月上旬になる予定です。

・簡易水道事業について
上水道への移管に向けて水圧不足地域の解消等安定供給が図れるよう水道基盤整備に努力してまいります。

・下水道事業について
下水道の運営に関し審議をいただくための下水道運営審議会が、8月22日、議会の代表者、区長さん等16名の方々に審議会委員を委嘱し設置されました。

平成8年度活・活西桂建設決算

予定された事業はすべて執行済み

ただし町税滞納の増加・焼却炉補助の見直し・工事設計変更が目立つ

平成8年度 一般会計決算審査

意見 町税、固定資産税の未納は、滞納額が大きくなれば、支払いも困難になるので、たまらないよう納税指導の徹底を図ること。

問 企画費、柄杓流川沿いの遊歩道の計画は。

企画振興課答 平成10年度事業で取り組みたい。

問 憩いの森トイレへの電力確保、桜植樹のための地権者との交渉の経過は。

企画振興課答 大多数の地権者が了解し、2名の方と現在交渉中である。

問 清掃費、ごみの焼却に關してはダイオキシン問題が指摘されている。既設の焼却炉はどうするのか。

町長答 紙では発生しない。ビニールを燃やさないように住民に周知徹底させる。
住民福祉課答 分別収集を強化し、ゴミでなく資源として再利用を推進したい。

町支払の借地代は

問 財産管理費、町の借地の費用が実状金額に比べて高いと思う。この際借り受けている土地を買収するか、借地代値下げについて相手方と交渉する必要があるのでは。

総務課答 町長より「できるだけ買収する様に」との指示も受けているので、ご指摘のとおり地権者と交渉を検討したい。

審議案件

〔条例〕 8件

議案40 西桂町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正

○国の法律の名称変更に伴う条例中の字句の訂正

議案41 西桂町母子家庭医療費助成に関する条例の一部改正

○国の法律の名称変更に伴う条例中の字句の訂正

議案42 西桂町老人医療費助成金支給条例の一部改正

○国の法律の名称変更に伴う字句訂正、県基準の変更に伴う対象者の所得限度額の変更

議案43 西桂町乳幼児医療費助成金支給条例の一部改正

○国の法律の名称変更に伴う条例中の字句の訂正

議案44 西桂町国民健康保険条例の一部改正

○国の法律の名称変更に伴う条例中の字句の訂正

議案45 西桂町在宅老人短期保護手数料条例の廃止

○運用基準の変更により手数料を徴収するケースがないため、条例を廃止する

議案46 西桂町地域福祉基金条例の一部改正

○実態の基金残高に条例の数字を合わせるため。

議案47 西桂町交通安全条例の制定

○町民の安全のため努力規定

中学校裏の桂コミュニティ駐車場造成工事状況

平成8年度 一般会計決算ほか 全議案を可決

9月定例会連合審査会



グリーンセンター施設（中央建物は管理棟）

住民の要請により意見書提出

道路整備予算確保に関する意見書（要旨）

道路は人々の日常生活に欠くことのできない最も基本的な社会基盤である。特に西桂町は、国道が朝夕の通勤・通学時間帯を中心に交通渋滞が発生し、その解消が望まれているところである。新規バイパス等の建設を促進し、道路整備予算のなお一層の拡大確保が是非とも必要であり、下記事項について積極的に対処されるよう強く要請する。

- 1、ガソリン税、自動車重量税等の道路特定財源を堅持し、その全額を道路整備に充当すること。
 - 2、平成10年度を初年度予算とする新道路整備計画策定に当たっては、所要の予算額の確保を図ること。
 - 3、国土の均衡ある発展を図るため、市町村道から幹線道路に至る道路網の整備を一層促進すること。
- 以上、地方自治法の規定により意見書を提出する。

平成9年9月30日

西桂町議会議長

提出先：内閣総理大臣、建設大臣、
自治大臣、大蔵大臣

解説 今後、三ツ峠周辺整備により利用客の増加を図り、健全な運営を目指していく必要がある。全般にわたってセンターの収入が減っているのは、テニスの衰退、ミネラルウォーターその他である。

全体の収入の大半が、利用者の多い夏場に集中しているのが現状で、年間を通して利用者が利用できる施設としてミニサッカールーム等

の建設によって、新しい事業展開に収入増を図り、地元の特産品のセンターでの販売をすることも検討する必要がある。

さらに近くに湧出する鉱泉は成分良質と云うのでセンター浴場も今後の課題として事業展開に期待したい。

また委員より「従業員の接客態度の向上による固定客の確保、無駄を省き経費の節減を図り、増収を目指して努力をお願いする。」との指摘がなされた。

町発注の工事 設計変更が多いのは

問 土木費、監査委員の指摘により、工事契約後の設計変更が多く実施されているとのことであるが、いかなる理由によるのか。

建設課答 設計変更の多くは住民の追加要望で、やむを得ず工事内容を変更したために生じたものである。

問 変更理由は理解できるが、当初よく地元住民と接触して現場を把握した後に発注すべきではないか。

建設課答 設計変更がなくならないよう、工事担当者には現場にいき、関係住民と相談のうえ設計を組むように指導する。

問 監査報告が表面的な数字にとどまっているように思える。十分な監査が行えていないのでは。

町長答 監査委員に町職員への遠慮があったと思われる。今後は必要があれば担当課の説明が受けられるよう配慮する。また監査報告書公表にあたっては、十分な内容となるようこちらからも積極的に情報を提供したい。

意見 大幅な設計変更を実施する場合には事前に議会にお知らせ願いたい。工事の多くは地域要望である。十分に地元住民の意をくんで取り組んでいただきたい。



毎月出納検査を実施、監査委員

を設け、啓発活動に努めるため。

「議決案件」2件

議案48 物品供給契約の締結
○行政システム化計画第2次機器配備として、出先機関を含めた全事務職員にネットワークコンピュータを導入する契約

議案49 国土利用計画（西桂町計画）議定

○住民の意向を反映しつつ、計画的な町土の利用に関して、基本的な事項を策定

「補正予算」1件

議案50 平成9年度西桂町一般会計補正予算3号議定

「決算」6件

承認6 平成8年度西桂町一般会計歳入歳出決算認定

承認7 平成8年度西桂町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

承認8 平成8年度西桂町老人保健法特別会計歳入歳出決算認定

承認9 平成8年度西桂町三ツ峠グリーンセンター事業特別会計歳入歳出決算認定

承認10 平成8年度西桂町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定

承認11 平成8年度西桂町下水道特別会計歳入歳出決算認定

「議員発議」1件
発議6 道路整備予算確保に関する意見書の提出



問

町の活性化につながる
農業振興方策は

耕作放棄地解消のため農振除外、
農業機械購入、特産品開発に努める



滝口憲一 議員

問

本年度は5年に一度
の特別管理いわゆる

7ヘクタール、農業者高齢
化等の理由により、町で管
理している農地が4ヘクタ
ールであり、今後急激に進
むと思われる耕作放棄農地
等について、町の対応を伺
いたい。

町で全体の農振地区を見直
すことについて、県関係機
関と協議等を重ねるなか
で、近いうちに認可になる
と聞いているが、住民アン
ケート調査等からも今後町
の活性化を図るには、農振

近年イノシシ・猿等によ
る有害鳥獣被害が多発して
おり、町では毎年、西桂町
猟友会に委託して有害鳥獣
駆除を実施しているが、今
後どのような対策を考えて
いるか伺いたい。

農業の衰退化の原因とし
て、農業機械等の高額化が
あると思う。町では、リタ
ーカルチを3台購入予定
で予算化しているが、荒廃

の考え方を伺いたい。

昨年農業委員会で実施し
た農地現況調査では、耕作
放棄農地面積いわゆる農地
として活用されない農地は

農地の広がりを抑えるには、
大型トラクター等を導入す
べきと考えるが、今後大型
農業機械の導入計画がある



農業委員会より農業指導を受ける小学生

か伺いたい。

現在、町の活性化を図る
なかで、三ツ峠周辺整備事
業等を実施しているが、特

産品加工施設・そば道場施
設等の建設計画があるか伺
いたい。

答

5年に一度の特別管
理において農振地区

からの除外が9月26日に認
可されたとの報告を受けて
いる。今後の農振地域の見
直しについては、町の活性
化のため、住民アンケート
調査結果等を考慮し、県及

び農業振興地域整備促進会
議等と協議し、農振除外つ
いて、前向きに対応する。

耕作放棄地の対応は、現
在農業委員会で、土地所有
者に保全管理を指導してい
るところであるが、効果的
な運営は図れていない。今
後一層、積極的に耕作放棄

地の解消を図り、併せて農
地銀行活動の理解を広める。

有害鳥獣防除対策は、
県・近隣市町村に、その対
応について調査したところ、
サウンドパンチャーという

機械により被害減少に効果
があったと聞き、試験した
ところ好評なので、3基購
入する。併せて有害鳥獣対
策事業が、補助対象事業と
なるよう県に働きかける。

農業機械等の購入は、財
政上の問題もあるが、農業
機械管理・運営等から農業
委員会、農業関係者と十分
協議し、県単独事業補助金
導入により、前向きに対応
する。

特産品加工施設建設は、
現在、産業振興対策・農業
振興対策として、みつとう
げ手織の里グループ・西桂
町生活改善グループ・みつ
とうげ大豆の会・みつとう
げそばの会等で遊休農地を
利用した活動を展開し、特
産品開発等に向けた取り組
みについて、心から敬意と
感謝を申し上げる。地域住
民による町おこしが、町の
活性化には必要不可欠なの
で、今後は財政面でクリア
できれば、建設したいと考
えている。

問

耕作放棄地である

(調査) 県事業仮称柿の木公園建設事業の進捗状況について

(結果) 河川親水公園また町中央公園として町民の要望を取り入れる



町議会、公園内護岸建設現場を視察

建設課概要説明 都留土木事務所においては、本委員会の結果でよろしいということになれば、平成9年度の事業着工の発注をしたい

本件についておおむね適正に処理されていることを確認し、平成9年度の公園建設事業を町と県との協議結果に従って行うことに同意する。

また遊具の設置については、町民から出された意見を考慮して機具の選定を行い、後日報告をお願いする。

ということである。柿の木公園の建設にあたっては、公園内に町民にアイデアを募り、よせていただいた事柄について建設課と都留土木事務所河川砂防課と協議を重ねてきた。

基本的確認事項としては、「河川親水公園」とする。機械、壁のある建物、電気設備は河川区域内に設置できない。また管理人がいない公園については、夜間は閉鎖が原則（県下統一性をもつて公園作りをすすめているとの県の見解）ということである。

公園内のレイアウトにつ

いて、①素足で歩く歩道等を作る。②スケートボード、ストリートバスケット等は多目的広場に対応する。③噴水は電気設備が必要であるため作らない。④花壇は遊歩道のり面を利用して作る。⑤水遊びができる小川、池、水飲み場2カ所を設置する。⑥防犯灯、水車、あずまや、トイレ、駐輪場を設置する。⑦外郭周辺に木、草花を植栽する。⑧ゲートボール場は1面設置し、芝生広場にも1面のスペースを確保する。⑨遊具の設置は安全、機能性を考慮し、ぬくもりのある木造のアスレチック感覚の物にする。なお遊具の設置、植栽関係については、最終年度の平成10年度事業となる予定である。

問 芝生広場のゲートボールについては、老人クラブの方々にもお願いして金曜日のプレイが終わった時点で、テープ・ワック・線等は撤去してもらうということ、お願いしたい。

老人クラブとは 協定を結びたい

建設課答 町ではこの公園を老人から子供までの中央公園としていきたいと考えている。寿クラブと協定書を結んで、土・日曜日に芝生広場をゲートボールで使えないなど、細かいところまで確認していきたいと思う。

問 水車をまわし、川の水を供給するための地下水のくみ上げは、24時間行うということか。夜間も。

建設課答 今の段階では24時間ずつとまわす予定である。公園の池に魚をはなしたいと考えている。

問 地下水調査はしてあるか。

建設課答 平成9年度の事業で掘っていく。

意見 水車、小川のための地下水源の確保はなるべく早くお願いしたい。調査を早めにしたら良いと思う。

が、土地所有者との話し合いも、なかなか理解が得られない。そばや大豆を作れば放棄地が少しでも減るわけで、いろいろ取り組んでいるが、ススキ等の田は大型のトラクターでなければ処理できない。何とか前向きに導入をお願いしたい。

先般2度ほどそばの体験道場を実施した。マスコミも4社取材に来て宣伝にもなり好評であった。そば道場の建設は先としても、体験道場の施設は作れないか。

答 町長 大型機械の導入は、運営管理が非常に問題となっている。失礼な言い方かも知れないが、お貸ししても使ってそのままになる心配がある。後職員が掃除することになるとマインナ面も多いと懸念しており、管理運営等を協議しながら前向きに検討する。

体験道場は、ミニサッカー場の横に外からも見えるガラス張りの体験場を作るべく進めているので、ご理解をいただきたい。

答**問**

中学校裏山の開発計画とは

町による開発、優良企業の誘致と レクリエーション施設が目的



高尾嘉一 議員

左手前の山が開発予定の中学校裏山

問

平成8年6月の総務
委員会の際、町長は

「町民の要望もあり、中学校裏の山地を造成し、観光面を見すえた計画として取り組みたい。」と表明、平成9年9月の総務委員会では、「三ツ峠へのアクセス道路など周辺整備事業の進捗を見ながら、開発に取り組みたい。」と表明された。約80%近くを森林で囲まれている当町にあって、中学校裏山の景観はすばらしく、唯一の開発可能な地域ではないかと思う。グリーンセンター事業の活性化にとっても開発は相乗効果がある。また山林所有者の経済活動にも寄与することが大である。しかし山林は緑地帯として環境保全に大きく寄与し、開発にあたっては環境に十分配慮する事が条件であり、開発による受益は町民全てであることが理想である。以上の観点から中学校裏山開発計画について、おたずねする。

一、開発の目的と利用計画
二、開発事業は町で行うか
三、開発規模、事業日程及び資金計画

四、区域内の地権者の数、地権者と折衝状況は

答

町長 西桂町の総面積は
15・18 km²であり、

このうち森林面積が11・99 km²と全体の面積の約79%を占めており、中央に国道、桂川があり、効率的な土地利用が課題となっている。従って開発はこれまでのところ住宅を中心に小規模なものにとどまっております。土地利用の制約条件から山林の有効利用が必要である。

このような状況下、町では三ツ峠周辺を都市住民と地域住民の交流の場としてレクリエーション施設の充実を図るとともに、観光資源開発を目的とした三ツ峠周辺整備事業と公共施設エリアである桂コミュニティを連携させ、良好な市街地整備の形成を図りたいと考えており、また自然景観の保全・改善を促進して計

画を進めたいと考える。

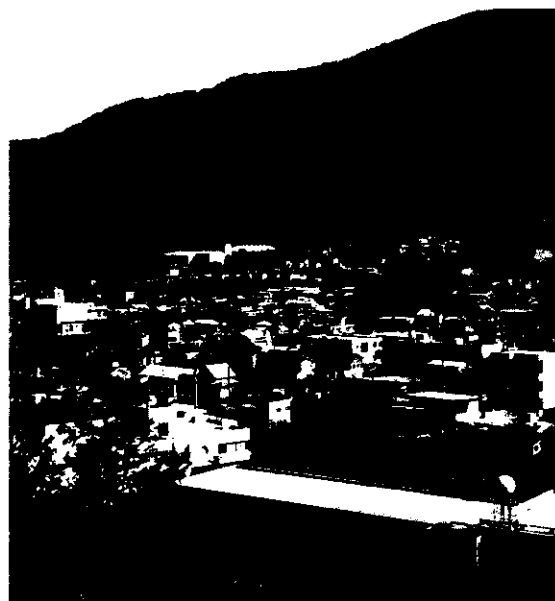
質問第1の開発の目的は、先の委員会で説明しているが、三ツ峠周辺整備事業の一翼を担い、地域住民と都市住民の交流のため、スポーツ・レクリエーション施設として開発を考えている。また活活・西桂まちづくりの住民アンケート調査の結果を踏まえ、優良企業を誘致し、雇用機会の拡大等を図りたいと考える。

質問第2の事業主体は、基本的には町で実施したいと考える。議会にお諮りしながら推進したい。

質問第3、開発の計画は、まず開発の手順について説明すると、基本構想・基本

計画を策定し、地権者の同意を得ながら地区説明会を行う手順になるかと思う。開発の時期については、県の指導・許認可事務の手続き等があるので数年後と考えているが、県との協議が整えば工事着手になる。規模及び資金計画は、基本構想・基本計画の策定後の中で検討するが、予定として、約3万坪を考えている。町の財政投資金額は、国の指導を受け、長期展望の中でしっかりと計画をたて、議会にお諮りし決定したいと考えている。

質問第4の地権者の数、地権者の折衝状況であるが、開発を予定しているエリア



中学校裏山から見た町中心部

(調査) 三ツ峠アクセス道路計画の進捗状況について

(結果) ルート・予算についてさらに検討の必要がある

アクセス道路は下暮地地区への進入路として、また町の活性化を目的とした三ツ峠周辺の開発のため、必要であることは委員会としておおむね了承するところである。しかし多額の予算が必要とされ、今後十分な調査と検討が必要と思われる。このため町は調査の進捗状況について議会に報告するよう要請する。

企画振興課概要説明 事業

名、仮称小沼・三ツ峠線設計委託、地域は中学校裏山付近、あざ名滝入、四ツ入等の山林地、三ツ峠グリーンセンター方面へのアクセス道路である。道路の規格は国庫補助事業対象、幅員13m、距離は1案、約2km、2案は若干短くなる。予算関係は残土処理費用が19億円以上、全体の事業費が30億円以上になってしまう。以上の理由により1案2案以外のルートを再度検討したい。

問 1案と2案の違いは。企画振興課答 基本的に2

案は最短ルートで真っ直ぐであるが、補助対象となるためには勾配が9%以内としなければならないので、山を掘削する必要がある。このため排出される残土が多く、工事費用もかかる。

掘削によるアクセス道路建設は残土処理上困難

問 中学校裏山の開発と三ツ峠へのアクセス道路は関連があるのか。あるとすれば、開発と一緒に残土処理をすればよいのでは。例えば滝入地区の窪地を埋めれば処理が出来るのでは。

建設課答 道路周辺の窪地を埋めることも考えたが、残土量が大量のため困難。企画振興課答 今回の事業は、町道三ツ峠2号線のバイパス道路である。

町長答 三ツ峠へのアクセス道路整備を山の開発につなげたい。そうしないと単に町道のバイパスというだけでは、町が潤わない。アクセス道路が整備された後

に、開発地区への進入路を取り付け、山を平にして優良企業を誘致するなりして、開発地区が優良地区となるようにしたい。そうすればアクセス道路に10億円くらいかかっても、十分に取戻せると考えている。また三ツ峠に都留から吉田にぬける林道を建設する計画もあるので、進入路を林道にもつなげたい。

問 示された1案2案とも山を切り崩し道路の敷地を確保するもので、この際トンネルによるルートを考えてはどうだろうか。

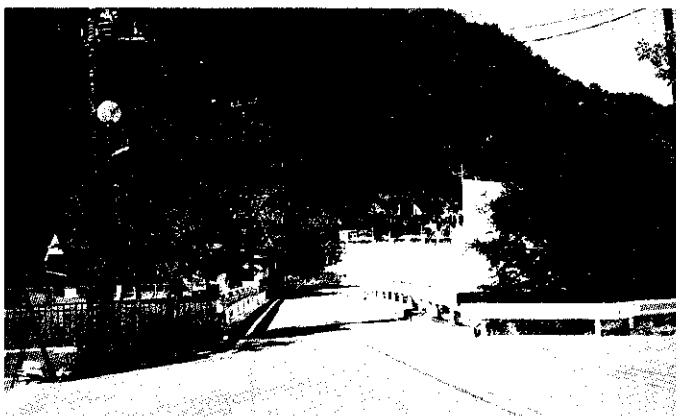
町長答 工事の負担は10億円以内としたいと考えている。このため提示した二つの案ともに事業化は困難であるので、忠魂碑付近に約270mのトンネルを掘り、下暮地のグリーンセンター方面へ抜けるルートも計画し、再度調査を検討したいと考えているので、議会のご意見も伺いたい。

中学校裏山にトンネルを

町長答 工事の負担は10億円以内としたいと考えている。このため提示した二つの案ともに事業化は困難であるので、忠魂碑付近に約270mのトンネルを掘り、下暮地のグリーンセンター方面へ抜けるルートも計画し、再度調査を検討したいと考えているので、議会のご意見も伺いたい。

山の開発は、山から下暮地の方面に土を落として上を平らにしていく。あまり残土を持ち出すことのないような設計も考えた。かなりの金額がかかるが2万から3万坪くらいはとりあえず確保して、第2次計画で山に登っていけばもっと広い土地があるので、そこも開発したい。

三ツ峠アクセス道路はここが入り口か



内の地権者は、30数名であり、およそ80%の地権者より立ち入り調査の同意を得ている。

今後の事務として、基本構想・基本計画策定後、議会へも説明申し上げ更に、地権者への説明会を開いて、スムーズにご協力を得られるよう努力する所存である。

問

三ツ峠周辺事業とグリーンセンターの活性化を結び付けるこの開発は適当と考える。と同時に地権者はもちろん、地域住民のコンセンサスを得なければ、この大きな計画は進行が難しいと思う。町長の提唱している活活西桂の諸事業に支障のないような資金手当もしていただきたい。

答

町長 このような大きい仕事になれば、いかにして補助金を持つてくるかということも一つの力加だと思ふ。あまり町財政を圧迫しないような計画でやっていきたいと思うので、ぜひともご協力をお願いします。

(調査) 民間ミニサッカー施設の状況は

(結果) 人気とともに利用状況は好調、人工芝は多目的利用が可能

山中湖スポーツセンター視察

山中湖スポーツセンター

概要説明 私はスポーツ合宿を中心とした旅館経営を

しているが、最近ではテニス

利用者が減少している状況

で、他のスポーツを考え、

ミニサッカーに目を向けた。

5人でできる手軽さ、最近

の人気スポーツである。

小学生から40・50歳の社

会人の方々が来ている。西

桂スポーツ少年団も利用さ

れている。昨年はスポンサ

ーもつき全国大会も当施設

で挙行され、今年は予選か

らの参加チームのべ2千チ

ームで、決勝大会は73チ

ームで盛大に行われた。

多目的利用が 可能な人工芝

環境に恵まれたこの地に
レジャーとスポーツを目的
に家族連れで訪れるお客さ
んもある。小さいお子さん
を人工芝で遊ばせたり、親

子でボールけりしたり、人

工芝のため、多目的利用の

展望もあると思う。

問 コートの下は土か。

センター答 そのとおり。

土にしたというのは自然環

境にマッチしていることで

ある。しかし冬霜関係があ

るので、地盤改良という薬

を混ぜてある。またコンク

リートはひざとか腰に負担

がかかる。しかし寒冷地の

ため維持費はかさむ。

問 雨は浸透するののか。

センター答 少量のものは

浸透する。ただし大雨のと

きはU字溝を流れる。

問 人工芝の下にはクツシ

ヨンが入っているのか。

センター答 薄いフェルト

が入っている。

問 地下に水抜きがあるか。

センター答 入っていない。

コート全体がかまぼこ状態

になっているので、また全

体に勾配をとってある。ま

たフェルトにも溜まる。



11人制のサッカー、イベント広場としても利用される



経営者(右端)より説明を受ける議員

9月定例会日程

9日 議会運営委員会

◇運営方法決定

18日 全員協議会

◇運営内容確認

◇議会録署名議員指名

◇会期の決定

◇閉会中の委員会継続調

査報告(総務委員会、建

設文教委員会)

◇町長議案・町長一括上程

(議案40、50、承認第6

、11)

◇決算監査報告

一括質疑

各常任委員会付託

本会議散会

連合審査会

◇付託議案審査

(含む請願2)

25日 全員協議会

◇運営内容確認

本会議再開

◇付託議案総務委員長報

告(議案40、50)

一括質疑・討論・採決

本会議散会

連合審査会

◇付託議案審査

総務委員会

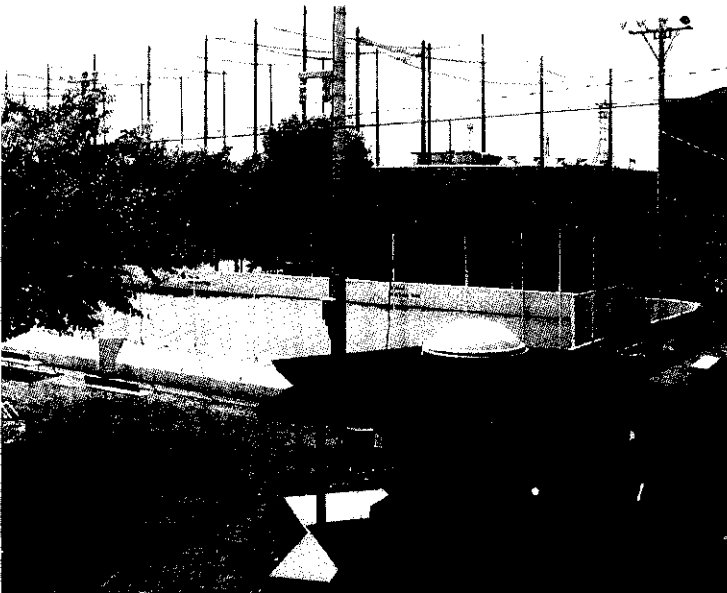
◇所管事務調査

30日 全員協議会

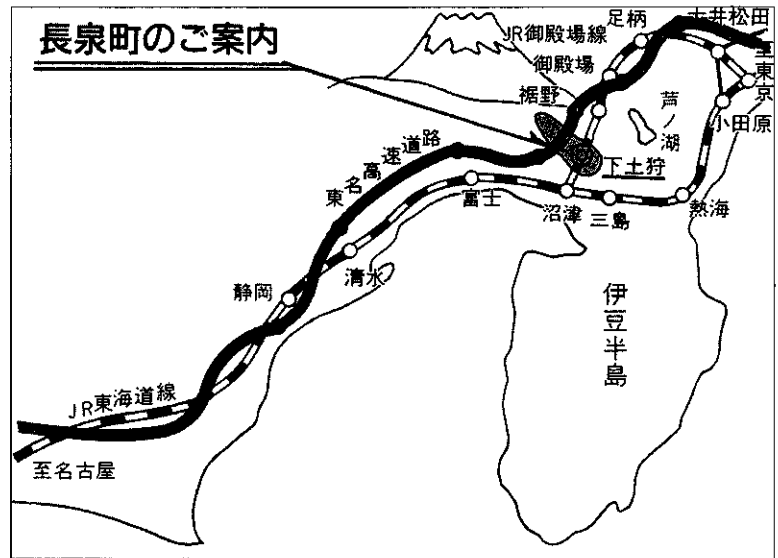
◇運営内容確認

(調査) 公営ミニサッカー施設の状況は

(結果) 運動公園から転用、人工芝の下は土が疲れなくて良い



グランドホッケーとの併用や施設の移動も可能



長泉町営ミニ運動場視察

長泉町教育委員会

概要説明 運動公園をミニ

サッカーに転用した。施工業者は東京産業(株)、人工芝、フェンス、このフェンスはFRPフェンスと言って、

中に水が入っている。入っ

ている時は人の力では動か

ないようになっている。逆

に水さえ抜けば移動が可能

となる。人工芝は移動可能

なので、他に用地があれば

全体移動が出来る。

このグラウンドのフィール

ドの寸法は幅16m、長さ36

mである。工事費の計が3

千200万円とそれに消費

税がついて合計3千296

万円である。夜間照明の工

事を施工し、478万9千

500円(消費税込み)で

ある。総工事費は消費税を

含み3千774万9千50

0円である。

問 業者が東京産業と言っ

ていたが随意契約というこ

とで、1社きりなのか。

委員会答 この製品(FR

Pフェンス)は三菱重工の

製品である。そして東京産

業がこの製品を扱っている

ということである。

問 人工芝の下は、アスフ

アルトはひいていないか。

委員会答 アスファルトは

ひいていない。碎石で平ら

にし、その上に砂をひいて、

その上に砂が動かないよう

に特殊なサンドロック層を

設けて、そして人工芝をひ

いている。試合をしていて

も、途中で足に負担がくる

ということはない。

人工芝の耐用年数は

問 人工芝の耐用年数は、

また破損部分の部分的修理

は可能か。

委員会答 人工芝のテニス

場を見ると、10年位が耐用

年数と思われる。部分的な

取り替えは可能である。

あなたの

請願・陳情は

採択となりました

請願2 「道路予算確保に関する意見書」の提出を求める請願

本会議閉会

◇一般質問

(滝口憲一議員、高尾嘉一議員)

◇閉会中の委員会継続調査議決(総務委員会、建設文教委員会、議会運営委員会、議会広報編集委員会)

◇議員発議上程(発議6)

説明・質疑・討論・採決

◇議員発議上程(発議6)

説明・質疑・討論・採決

◇議員発議上程(発議6)

説明・質疑・討論・採決

◇議員発議上程(発議6)

説明・質疑・討論・採決

◇議員発議上程(発議6)

説明・質疑・討論・採決

◇議員発議上程(発議6)

説明・質疑・討論・採決

◇議員発議上程(発議6)

説明・質疑・討論・採決

議会のうごき

7月

19日〇ほたる祭り(全議員)
20日〇年齢別ソフトボール大会(全議員)

25日〇上町集会上棟式(議長、地元議員)

31日〇納税貯蓄組合長会議(正副議長、総務委員長)

8月

9日〇避難所体験防災訓練(正副議長、消防)

委員、広域議員

10日〇富士山クリーン作戦、三ツ峠清掃・記念式典(全議員)

15日〇夏祭り(全議員)

22日〇下水道審議会委員委嘱式(委嘱議員)

31日〇事業所別ソフトボール大会(全議員)

9月

1日〇総合防災訓練(全議員)

2日〇南都留郡町村議員グランドゴルフ大会

(全議員)

6日〇保育所運動会(正副議長、総務委員長)

7日〇小学校運動会

(全議員)

11日〇敬老会(全議員)

14日〇中学校体育祭

(全議員)

28日〇町民慰霊祭(全議員)

10月

7日〇西桂分遣所竣工式(全議員)

10日〇町民体育祭(全議員)



9月1日防災訓練、小学校での消火訓練



10月10日 町民体育祭にて



編集メモ

今年は冷夏と予報されたが、梅雨でも大変暑い日が続き、夏祭りには10月中旬の秋の気配を感じ、気温激変。地球温暖化。気象庁の云う「エルニーニョ」現象の影響か。世界の国々で防止対策を協議。幸い台風被害もなく収穫の秋を迎えて農家の方々の顔も明るい。

消防分遣所業務開始。救急消防体制の強化。町が建設中の四つ目の公民館完成まちか。各地域共において有効活用し、教育文化の向上、地域の交流の場、社会福祉の増進に寄与することを確信します。議会もいきいき町づくりに創意工夫を結集して取り組んでいます。向寒の候、町民の皆様かぜを引かぬようくれぐれもご自愛の程を。 小山

編集委員長 高尾 浩式
副委員長 前田巳智男
委員 小山 忠男
委員 永田 富幸
委員 牛田 茂